

平成 30 年度 地域ケアプラザ事業報告書

■ 施設名

横浜市野七里地域ケアプラザ

■ 事業報告

今年度、地域ケアプラザの管理運営をどのように行ったのか、具体的に記載してください。

以下、地域ケアプラザ事業実施評価との共通部分

1 全事業共通

地域の現状と課題について

- 野七里地域ケアプラザの周辺地域は、恵まれた自然環境の中、環状 4 号線に沿って戸建住宅地、集合住宅等で形成されています。
- 人口は、少子高齢化が進み世帯規模も小さくなる等地域住民特性が変化してきていますが、元気な高齢者が多く地域サロン運営等の地域活動は活発です。今後も 75 歳以上の人口は増加が予想される中で、認知症や介護・医療に関する課題があります。
- 山坂が多い立地環境のため、買い物や通院の介助の必要性、緊急時の生活不安等が高まっています。
- 子育て世代は共働きが多く、「子どもの居場所づくり」や安心して子育てが出来る環境整備が求められています。

(1) 相談（高齢者・こども・障害者分野等の情報提供）

- 山坂の多い立地環境なので、ケアプラザ窓口のみではなく積極的にサロンや自治会に参加させていただき相談窓口の周知を行いました。民生委員がサロン従事者でもあり、民生委員の促しでサロン参加者からその場でご相談をいただくこともありサロンの中で効果的な情報提供ができています。
- 生活支援コーディネーターが、サロン等に出向きアンケート等で住民の困りごとを伺いました。男性の参加者が少ないことやサロン運営の担い手確保ができない等の課題から、男性をターゲットに寄せ植え講座を開催しています。普段出てこない男性の参加やボランティアに繋がった方もいて、今後も継続した開催とボランティア育成が必要です。
- 子どもの虐待に関するケースについて、区役所子ども家庭支援課や上郷保育園とケースカンファレンス等を持ちながら連携し、ケアプラザとしてできる見守りを行っています。
- 医療機関等とのケースを通じた連携はもとより、包括に相談の多い「めまい」について、南部病院の専門医を講師に講演会を実施しました。今後、ますます必要になる医療との連携を取りながら地域に事業展開しています。
- 企業との積極的な連携には至りませんでした。新聞、宅配業者等へのヒヤリングや活動のマッチングが今後の支援体制には必要です。

(2) 各事業の連携

- 毎月6職種（地域包括支援センター3職種、地域活動交流コーディネーター、生活支援コーディネーター、介護支援専門員）で、個別のニーズや相談内容の分析、地域の魅力や課題について情報共有し、自治会町内会毎に情報シートを作成・整理することで、継続して地域活動やニーズに「見える化」を実践しています。
- 包括に認知症に関しての相談が多いことから、認知症の方を地域で支える体制作りを所内で検討し、地域のキャラバンメイトと一緒に「野七里キャラバン」の立ち上げを行いました。定期的に連絡会を継続し、ボランティア育成講座の中で一緒に認知症サポーター養成講座を開催しました。

(3) 職員体制・育成、公正・中立性の確保

- 所長を含む常勤職員は欠員なく適切に配置しています。
- 研修は、職員のスキルアップを目的に法人内研修・社外研修・必須研修を積極的に受講しました。また、職員会議等で受講内容を共有し職員全体の成長へ繋げました。30年度は、個人情報保護、感染症予防、療育センター、権利擁護事業、サービスB、法人倫理規定について各職員が講師となり研修を実施しました。
- 月1回、毎月6職種（地域包括支援センター3職種、地域活動交流コーディネーター、生活支援コーディネーター、介護支援専門員）会議を実施し、地域の現状を共有したり、地域からの依頼のあった認知症サポーター養成講座等自主事業の内容を検討しました。
- 関係機関が多く出席する研修では、社会福祉協議会・近隣地域ケアプラザ等と積極的な情報交換を行いました。
- 利用者アンケート&振り返りシートの作成し、情報ラウンジに掲示し周知を行いました。また、地域包括支援センターとして公正中立性を確保するために、関係事業者情報の提供方法等をミーティングで確認しています。

(4) 地域福祉保健のネットワーク構築

- 上東・上西地区支援チームに参加し、地域情報の共有や自主事業の報告を行い、連携強化に努めました。
- 高齢者や障害者の孤立予防を目的に、新たな見守りに関する取り組みを検討しています。西ヶ谷団地自治会、民生委員、サロン従事者、住宅供給公社、保全協会と継続した検討会を行いました。
- 各自治会町内会単位又は一人一人の民生委員と情報交換会や地区別の勉強会を開催しました。高齢者に限らず子どもや障害者等の課題もあり、今後も継続した情報交換と課題解決に向けた連携が必要です。

(5) 区行政との協働

- 今年度は、区役所や社会福祉協議会と地区別計画の推進母体事務局としての機能を再確認し、役割分担を行いながら、積極的に効果的に地域支援を行いました。
- 地区別計画推進母体の運営面や担い手の課題に対しても、区、社会福祉協議会との役割分担の中で、ケアプラザとして地域に寄り添いながら一つ一つ丁寧に関わりを続けてきました。
- 月1回、区役所（保健師、SW）とケースカンファレンスを行い、地域情報の共有や個別ケースの検討を行いました。

2 地域活動交流事業

(1) 自主企画事業

① 健康づくり

- ・ 包括と共催で地元野菜を使った「地元ごひいき講座」を、はまふうどこんしえるじゅの講師をお願いして4回開催いたしました。各回テーマを決めて時短料理・アイデア料理など多彩な料理を作り食からの健康について考えてもらう機会を作りました。
- ・ 新しく花を使った講座を開催し、比較的若い世代の女性の方達にもケアプラザに足を運んでもらう事ができました。その他、貸室利用団体の協力を得て「1日だけの健康麻雀教室」を開催し、丸1日ケアプラザを会場に出入り自由の麻雀教室として地域の方達同士の交流の場として賑わいました。
- ・ ポールウォーキング(上郷地区センター共催)に関しては参加者が集まらず次年度からは形を変えて開催を計画しています。

② 見守り・支え合い

- ・ のしちりほっこりカフェに関しては、現在のボランティアでは難しく、新たにピンポイントで声を掛けている状態です。最初はケアプラザと一緒に企画段階から入ってもらい、時間を掛けてゆっくり後方支援にまわられるよう計画しています。
- ・ 今年度は障がい児余暇支援事業については実施されませんでした。交流コーディネーター連絡会で実際に放課後デイを見学させて貰い、地域ケアプラザの特性を活かせる障がい児支援について検討しています。ケアプラザ単館としては今年度発達障がい児に対する理解を深める為に、栄区発達障がい親の会の方々にお越し頂き、講義をして頂きました。地域柄、高齢者への理解と支援は浸透していますが、障がいのある方達への理解はまだ、少なく今後も継続して行う予定です。また、貸室利用団体で障がいのある子供を持つ保護者の方達の希望で、よこはま港南地域療育センターの作業療法士の先生にお越し頂き、家庭でもできる感覚や運動の発達を促す為の講義をして頂きました。
- ・ こどもに関する事業については従来の「げんきっこひろば」「保育士体験」の他、DIY子供工作教室やキッズクッキングラボを通してケアプラザに足を運んでもらうよう心がけました。保護者への支援として、子供の少ない上郷東地区で誰にも相談できず一人で子育てに奮闘している主にお母さん達にむけて、自分自身を大切にしておらおうという気持ちを込め、いじめや子育てについて数多く講演会や執筆活動を行っている北村年子氏より「もっと自分を好きになろう～こどもと私の自尊感情を育てる～」という講座を開催しました。自分を認め、子供の「良かった」探しをしながらもっと肩の力を抜いて子育てしようよというメッセージに、少し気持ちが楽になったという声を沢山頂きました。また、「こどもカフェ上郷」に加えて、地域の有志の方々による、主に中学生に向けた学習支援教室「みんなの勉強室」が始まり地域で子ども達を見守る活動の後方支援を行っていきます。

③ 連携ネットワーク

- ・ 「あなたの地域デビュー応援します」という講座で、これからボランティア活動を目指す方や既に活動をはじめた方向けに、ガイドボランティアについて・認知症について・発達障がいについてそれぞれの理解と支援が深まるよう講座を行いました。ガイドボランティアは区社協に、認知症サポーター養成講座は地域のキャラバンメイトの皆さんに、発達障がいは親の会の皆さんにご協力頂きました。
- ・ 庄戸小4年生にむけて福祉教育を行いました。高齢者・視覚障害・聴覚障害の3グループに別れ、体験を交えた講座を行いました。高齢者では、疑似体験セットと車椅子を使い高齢者の気持ちになって体育館内を歩いてもらい、視覚障害では栄区の点字サークルの方達によって実際に点字を打たせてもらいました。聴覚障害ではコミュニケーションボードの説明を行い、実際に体験する事で当事者の気持ちを理解しどう行動するか考えてもらいました。これがきっかけで、庄戸小の児童がケアプ

- ラザに来て、地域で登下校を見守ってくれる人達との交流会を行いました。
- ・ケアプラザで人気の歌声喫茶ですが、ケアプラザになかなか足を運べない上郷町・東上郷町の方達に向けて今年度はセレモホール上郷で2回、東上郷町ではカフェみどりと共催で開催しました。

(2) 福祉保健活動団体等が活動する場の提供

- 野七里秋の文化祭では、貸室団体の発表や地域住民や施設の販売の他今年は子供向けのコーナーを設け様々な世代に来て頂きました。文化祭での発表が励みになっている団体もあり、地域に向けて発信できるよう支援していきます。
- 近隣施設より依頼があり、貸室団体にボランティアとして活動してもらいました。また、栄区内6館共催の若年性認知症の会「笑風の会」にも来て頂きました。打ち合わせ方法等課題はありますが、今後も活動の場を広げて行ける様連携をとっていきます。

(3) ボランティアの育成及びコーディネート

- 自主事業に参加された方などにピンポイントでお声掛けをしたり、ボランティア養成講座に参加された方にケアプラザでのボランティアの紹介をして登録につながりました。ただ、具体的に活動内容を提示したほうが解り易いのご意見もあり、募集しているボランティアの一覧を作成し、事業や交流会に配布して新たな担い手の発掘を行います。また、年に1度ボランティア交流会を開催しボランティア同志の顔合わせと活動報告を行い、その中から新たに繋がって別の活動に広がっています。

(4) 福祉保健活動等に関する情報収集及び情報提供

- ケアプラザの情報は年10回の広報誌・広報よこはま・ケアプラザ前の掲示板の他、地域のサロンや会議でチラシを配布し、周知を行っています。
- 自主事業のアンケートで収集した地域の声は所内地域活動交流部門の会議で検討し改善したり新たな自主事業に繋げています。
- 地域全体で災害時の要援護者支援に関する関心が高まっており、福祉避難所としてケアプラザが出来る事を地域防災拠点や地域の会議で情報の提供を行いました。
- ホームページに関しては、現在調整中です。

3 生活支援体制整備事業

(1) 事業実施体制

- 地域包括支援センター・地域活動交流・居宅ケアマネジャーで6職種会議を行い、単町ごとに地域の課題やニーズについて検討し情報シートを作成しました。地域の情報を見える化し、把握しやすくする為マップを使って、話し合いを行いました。
- ケアプラザ広報誌にて、サロンの情報や生活支援ボランティアの活動などを掲載し、情報発信を行いました。
- 地域福祉保健計画の推進のための会議に出席し、第3期地域福祉保健計画の中間振り返りを通して、住民と一緒に課題やニーズを共有し、今後の課題解決に向けて話し合いを行いました。様々なサロンへ参加し、ケアプラザからの情報発信や、ニーズや課題の把握を行いました。また、シニアクラブへの参加については、ケアプラザ全体で行った認知症サポータ

一養成講座を通して繋がりやきっかけ作りとなりました。

(2) 地域アセスメント（ニーズ・資源の把握・分析）

- 区役所と地域包括支援センターのカンファレンスに参加し、地域の個別ニーズや課題の把握をし、地域の生活支援ニーズについて検討しました。
- 各地区の民生委員の情報交換会の中で、地域の活動や困りごとを把握しました。
- 各サロンにて生活支援ニーズとサロンについてのアンケート調査を行いました。上郷西地区では、アンケートの結果として地域の中に「食事の場がほしい」といったニーズが多くありました。また、「サロンボランティア交流会」の中でアンケートの結果を共有し、課題やニーズの共有を行いました。各サロンにアンケート結果を報告し、住民と一緒に課題やニーズについて話し合いを行なっています。
- 「ネオポリスシニアクラブやまゆり会」にて認知症サポーター養成講座、「港南台コートハウスシニアクラブ「秋桜会」にて3回の勉強会をケアプラザ全体で行い、シニアクラブとの関係づくりのきっかけとしました。
- 「ケイサンタクシー」「草のよしだや」「上郷苑」など地域にある企業や福祉施設にヒヤリングを行い、地域の社会資源について把握を行いました。
- 「野七里助っ人隊」と共催にて、担い手の発掘、活動の参加のきっかけ作りとして「剪定・寄せ植えガーデニング講座」を3回行いました。これらの講座に参加した人の中から、「野七里助っ人隊」の活動に2人が加わりました。
- 子ども会の会議にて地域の生活支援の課題についてや、他地区で若い世代が取り組んでいる買い物支援の事例などを情報発信し、若い世代の意見や、地域でやってみたいことなどを把握しました。若い世代の方々の中にも、地域での居場所作りや、自分のできることを地域でやっていきたいと考えていることがわかりました。
- 地域で高齢者の支援を行っているケアマネジャーにヒヤリングを行い、地域の高齢者の生活支援ニーズや介護保険で対応出来ない部分の、地域であったらいいサービスなどの把握に努めました。

(3) 連携・協議の場

- 地域福祉保健計画の推進会議
 - ・上郷西地区の役員会などに参加し、地域の課題やニーズを住民と共に話し合いました。地域全体の活動の担い手不足が大きな課題となっています。
 - ・上郷東地域見守りネットワークの定例会や全体会にて、地域の活動の把握や課題について話し合いを行いました。
この中で、災害時の要援護者支援の取組を各自治会町内会でどのように取り組んでいるかを把握し、それらの活動の現状と課題を話し合いました。
また、毎年行われている「サロン見守り交流会」のあり方について検討し、サロンの実情についてアンケート調査を行いました。それをもとに「サロン見守り交流会」を実施し、サロン活動を継続していくために、上郷東地区にとってサロン活動が福祉活動の中心となっていることや、見守りに繋がっていることを活動している方々と確認しました。
- 西ヶ谷団地見守りのための情報交換会
29年度に引き続き、西ヶ谷団地で起きている「孤独死」や「高齢者の見守り」に対する課題について、自治会、民生委員、管理会社、地域包括支援センター、区役所と、4月、12月に情報交換会を実施しました。個人情報保護の問題などで、それぞれの持っている情報が、

いざという時に出不せないなどの課題が上がっています。

- 29年度に引き続き上郷西サロンボランティア交流会にてサロンの課題を話し合い、高齢者の居場所や、地域の繋がり作りの場として、今後さらにサロンは必要となってきます。今あるサロンを上郷西地区全体で活性化していくために、交流会の中からサロンマップ実行委員を立ち上げ、各サロンで情報シートの作成を行い、サロン関係者全体でマップを作成しました。
- 西ヶ谷ハイツでは29年度から引き続き、災害時の要援護者支援の取り組みを進めています。要援護者と支援者を募り顔合わせを行い、顔の見える関係づくりを行ってきました。取組みの中で、他地区の情報や区役所からの情報などを提供し一緒に取り組んできました。10月に災害時の要援護者に対する避難誘導訓練を行い、支援者がグループで要援護者を一時避難所まで誘導しました。ケアプラザからは災害時に要援護者の方に対して車椅子の扱い方のレクチャーを行いました。初めての訓練で多くの課題が出されましたが、そういったことを積み重ねて顔の見える関係作りを進めて行き、平常時、災害時ともに支えあえるしくみを作っていくことが大切だと感じています。2月には自治会の避難訓練と合わせて、安否確認訓練を実施しました。自治会との連携を図っていくきっかけとなりました。
- 今年度4月より、福祉クラブ生協がデイいのやまの会議室を利用して、地域向けにサロンを開始しました。この開催に向けて地域との連携を図るため、情報交換会を実施しました。11月の申請時に相談があり、このサロンの活動をサービスBに申請したいとの意向があり話し合いを行いました。区役所、区社会福祉協議会と共に、申請に向けて協議を重ね、申請の手続きを一緒に行いました。3月には地域包括支援センターとともに情報交換を行いました。地域の実情や、地域との連携について話し合いながら活動が地域に根ざしたものになるよう支援を行っています。
- ケアマネ勉強会
主任ケアマネジャーによるケアマネ勉強会にて、サービスBについての説明と、サービスB団体「カフェ・ハーモニー」、「竹の子」の紹介を行い、ケアマネジャーと団体の情報交換を行いました。

(4)より広域の地域課題の解決に向けた取組

- 29年度より付き添いボランティアの立ち上げ支援を行ってきましたが、4月より活動を開始しました。名前を「ミニサポートネットワークふれあいスワン」とし、「外出の付き添い」と「買い物代行」のボランティアとして活動を始めました。病院の付き添いでは、ケアマネジャーなどから依頼を受け、ボランティアとの顔合わせを行います。介護タクシーなどに同乗し病院内は車椅子で付き添いを行います。買い物代行は、ボランティアが依頼者宅に伺い、買い物内容を聞いてお金を受け取ってから買い物に行き品物を届けます。事務局はケアプラザで行い、地域包括支援センターと相談しながら対応のできる範囲を検討し、依頼を受けています。ケアプラザ広報誌にて募集を行い、新たなボランティアも加わりました。また、ケアプラザ内のケアマネジャーや地域包括支援センターと一緒に勉強会を行いました。ボランティアでチラシを作成し、地域包括支援センター、ケアマネジャー等に周知を行いました。ケアプラザ広報誌に掲載し、地域の方々への周知を行いました。これらにより、依頼が少しずつ増えてきています。ボランティアの経験を積み重ねながら、振り返りを行い少しずつ自主的な団体として活動できるよう支援を行っています。
- 栄区内全体の課題として、認知症の方が増加していることが挙げられています。これに対し、地域で活躍するボランティアの方々に、認知症の理解を深めてもらい今後の活動を広めていき、地域の中で様々な方が暮らしやすいよう、生活支援コーディネーター連絡会にて話し合いを行いました。栄区はちょっとボランティアといわれる生活支援のボランティアの団体が多く活

躍しています。これらのボランティアの方々に第1回目は「認知症に対する勉強会」を行い、お互いの活動の情報を交換し、課題を共有し栄区全体で連携しながらさらに活動を進めていけるよう連絡会を行いました。

第2回目は「消費者被害に対する見守り」について勉強会を行い、活動中での高齢者に対する見守りについて情報交換を行いました。こういった団体の周知や活動の活性化を図るため、「栄区ちょこボラ団体リスト」を作成しました。この民生委員・児童委員協議会、ケアマネ事業所等とこれらの活動について情報交換を行っています。

○担当エリアが地区をまたいでいるため、中野地域ケアプラザ、桂台地域ケアプラザと連携をとりながら進めています。

4 地域包括支援センター運営事業

(1) 総合相談支援業務

①地域におけるネットワークの構築

○シニアクラブやサロン、地域の会合、お祭りなどに出向き地域包括支援センターの役割やケアプラザの周知を繰り返し行いました。

○エリア内の施設で行われた運営推進会議に出席し、施設が地域貢献についてどのように考えているのかの投げかけや、情報収集を行いました。

②実態把握

○担当エリアの町内会の見守り会議に参加し、住民の持つ情報やネットワークについて把握する事が出来ました。

○今年度も、民生委員との情報交換会をエリアごとに開催しました。その中で、一人暮らし高齢者についての対応のご相談や情報共有を行いました。更に、エリアごとの課題を伺うことが出来ました。

③総合相談支援

○地域でのサロンやシニアクラブ等の食事会や支援者の会合の際に出張講座を行ったり、月1回の庄戸コミュニティハウスにて相談窓口を行いました。

○月1回で包括内カンファを行い、情報共有や各職種への同行依頼等、連携しています。また都度、対応検討や情報共有を行っています。

○成年後見、認知症、サービス拒否などの対応困難ケースの際、適時カンファレンスを開催し、情報共有と多職種連携にて支援対応しました。

(2) 権利擁護業務

①成年後見制度の活用促進・消費者被害の防止

- 相談業務の中で適宜、その方の状態や状況に応じて案内や支援を行いました。
- 消費者被害に関しては、消費生活センターとの連携対応を心がけ、個別訪問時の注意喚起を行う事が出来ました。今後は、地域に出向いての講義開催での呼びかけを積極的に行っていきます。
また、上郷東地区消費生活推進員の事務局会議への参加等新しく始めることは出来ました。今後は、連携による消費者被害の予防啓発活動に繋げていくことが課題です。
- 成年後見制度に関する講座を行い皆様の関心の高さは伺えたものの、参加人数から周知が十分ではなかったと考えられます。今後は、ポスティングを含めた様々な形で住民一人一人に情報が行きわたる事が課題です。

②高齢者虐待への対応

- 区カンファ等での情報共有に加え顔の見える関係性を意識しており、迅速な対応ができる様に心がけています。
- 栄区社福士分科会6館共催の虐待防止講座に関しては、要望があった小規模多機能・デイサービス等事業所向けに行い、アンケート等では大変好評でした。事業所内での研修に位置づけて頂ける事で、忙しい業務のなかで最初に気付く事ができる現場の職員達の理解と協力を得られる活動として、今後も継続する意義があると思われれます。

③認知症

- 「キャラバンメイト連絡会」を立ち上げ、概ね月1回会議の場を持ち野七里エリアの認知症についての相談対応について現状を伝え、地域の理解の重要性を認識しました。また、ボランティア連続講座の中でサポーター養成講座の開催しその内容を一緒に考え実施いたしました。なかなか、メイトの方との日程が合わず今年度のサポーター養成講座を合同で行う事は1度しかできませんでした。
- エリア内のサロンスタッフから、認知症についてのミニ講座の依頼があり3回連続講座で認知症の方への対応方法について寸劇等を交え開催いたしました。
- 介護者のつどいでは、年3回の開催を心待ちにされている方もおり、先輩介護者からの助言等も増えてきて活発な発言の場となりつつあります。また、参加後、個別対応にてサービスや情報提供等に繋げる事が出来ました。
- 「笑風の会」では毎回ケアプラザからも参加者がおり、新規で相談に来られた若年性認知症の方の参加に繋がり、良い形で支援が行えています
また、エリア内のサービス事業所等への声かけにより、ボランティアとしての参加もあり地域の中での有意義な資源として活用されています。
- 「認知症初期集中支援チーム」は月1回のペースで栄共済病院にて会合が行われました。対応は専門家チームの訪問から始まり、その都度経過を報告しながら考えていきます。野七里包括からもケース依頼を行い、現在動き始めています。

(3) 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

①地域住民、関係機関等との連携推進支援

- 今年度は、地域ケア会議を3回実施し毎回ケアマネジャーから事例を発表して頂き介護保険事業所の方には専門的立場からのご意見や地域住民との情報交換、課題の共有が出来ました。
- 生活支援コーディネーターと連携し買い物支援や、家屋内のちょっとした修理などのインフォーマルサービスをケアマネジャーに情報提供し実際の活用に結び付ける事が出来ました。
- 地域のサロンに出向き、介護保険制度講座を開催いたしました。
- ケアマネジャーをはじめ介護保険事業所と民生委員との情報交換会を行う事は、ケアマネジャーの情報から栄区内外での勉強会等が大変多くケアマネジャーの負担が大きいと考え今年度は実施しませんでした。ですが、必要に応じケースを担当しているケアマネジャーと民生委員を繋いでいきました。

②医療・介護の連携推進支援

- 協力医の来館日や、活用方法を介護保険事業所に周知していきました。また、医師が在宅での生活を心配されているケースについてケアマネジャーに伝えケアプランや現状を医師にお伝えする事もありました。
- 高齢者の相談に関わりの多い診療所、協力薬局とは、顔の見える関係が構築できており随時、訪問し情報交換を行う事が出来ました。
- 栄区医師会在宅医療相談室と連携し、医療、介護の多職種による勉強会を2回開催しました。
- 各病院、往診医等の医療機関と連携し退院時や受診開始時にスムーズに医療と介護が連携できるようカンファレンスに同席し調整を行いました。

③ケアマネジャー支援

- 支援困難事例については、ケアマネジャーとの同行訪問や助言の実施、事例の再検討などを一緒に行いケアマネジャーが1人でケースを抱え込まないように支援を致しました。
- 居宅支援事業所の休みが多い週末や、対応がどうしても出来ない時に見守りや声かけが必要なケースについてはケアマネジャーと連携し対応いたしました。
- ケアマネジャーから相談のあったケースが地域共通の課題があると判断した際に地域ケア会議を実施しました。それによりインフォーマルサービス機関との連携が図ることが実現し担当の高齢者抱える問題を解決する事が出来ました。
- 栄区役所生活支援課と共催で「アウトリーチパートナー研修」をケアマネジャーや多職種向けに開催しました。生活支援課の機能やアウトリーチパートナーの役割を介護保険事業所が把握することで、本人のみでなくその家族全体の支援を考える視点を持つ事が出来、生活支援課との連携がよりスムーズに行えるようになったとの声もケアマネジャーからありました。
- 栄区にある6館の包括支援センター主任ケアマネジャー共催で新任・就労予定ケアマネジャー対象の勉強会を2回、栄区内に就労するケアマネジャー対象の勉強会を区国民年金課と共催で2回開催しました。
- ケアマネジャー向けに、サービスBやエリアで起きている現状をお伝えし情報交換、情報共有する勉強会を開催しました。
- 介護者の体調不良時の対応について、5職種との情報交換により、インフォーマルサービス情報をケアマネジャーに提供する事で役立てる事が出来ケアマネジャーの負担軽減に繋がりました。

(4) 多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築・地域ケア会議

多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築・地域ケア会議

- 個別ケア会議を3回実施し、多職種、インフォーマルサービス、医療、地域住民及び民生委員、行政等、様々な機関が集い実施することが出来ました。そこで抽出された課題を基に地域住民とどのような取り組みが可能か現在話しあいを重ねています。
- 次年度、ケア会議で得た情報を多職種に広める為勉強会を検討しております。
- 包括レベルのケア会議は、個別ケア会議を重ねる時間がなかなか持てず実施には至りませんでした。
- 地域ケア会議をきっかけに、企業との連携が密になり共催で認知症サポーター養成講座等何か出来る事はないか検討中です。

(5) 介護予防ケアマネジメント（指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業）

介護予防ケアマネジメント（指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業）

- 生活支援コーディネーターと連携し、地域のサロン連絡会を開催しサロンマップ作りを行っています。今年度、完成し次年度ケアマネジャーとサロンとの情報交換会を次年度5月に実施しマップを配予定です。
- 委託しているケースについてはなるべく担当者会議等に出席し、本人、家族の意欲を上げられるよう、自身がどのようになって行きたいかを問い自立に向かって日々を送れるよう助言等行っています。
- サービス担当者会議前に委託先のケアマネジャーからケアプランの確認のためにケアプランを渡された際にインフォーマルサービスの重要性を説明しそのエリアにあるサービスの紹介を行ないました。

(6) 一般介護予防事業

一般介護予防事業

単発と継続講座で地域の多くの方々に興味を持ってもらい、介護予防の普及啓発に結びつくように実施致しました。地域のサロンやシニア会からの依頼での講座も実施しました。

- 運動による介護予防
 - ・自主事業である「イージー体操」は体操以外のイベントも計画し、楽しく続けられる様にしています。長く続けている人も多いですが、新規の人も参加しやすい雰囲気です。来たついでに相談という人もおり、ケアプラザとの関わりを上手く利用出来ています。
 - ・転倒予防と認知症予防二本立て講座「のしちり健康作り体操」は今年度もエリア内4箇所で定期的実施しました。昨年からは半年毎に体組成計測定会を行い自分の体の変化を実感してもらう機会としています。度々広報を行いましたが、会場によっては参加者が少なく次年度の課題となりました。
 - ・「元気作りステーション」へは定期的に参加する事は出来ませんでした。区と連携しながら関わりました。
 - ・地域のサロンやシニア会に出向き、ケアプラザではお会いできない方々に向けても介護予防講座が出来ました。その際は事前に代表者と話し合い、介護予防の普及啓発に繋がる内容で計画し、転倒予防・認知症予防・栄養・口腔機能改善を取り入れました。また、ケアプラザの自主事業のほっこりカフェでも同様の講座を行いました。
- 「野七里スリーA はずなの会」は地域活動交流部門と協力しながら後方支援を行いました。今年度中のリーダー育成は難しい状況ですが、現リーダーはスキルアップし

ており、会は活発に活動しています。

- ケアプラザで野菜を育てている園芸グループが、季節毎に収穫した野菜調理の参加者を地域に広く募集し、地域野菜とのコラボレーションも計りました。さらに敷地内に花を植える活動も継続し地域の人達が立ち止まって眺めて行く様な花壇になりました。それらはグループの意識向上に大いに繋がり参加者を広げようとする試みも始まっています。
- はちみつ講座は3年目となり、今年度は地区センターと共催事業にしました。健康・美容・認知症予防・栄養に繋がる講座内容の他、2日目は蜂蜜料理講座の講師を別に依頼し、本格的な蜂蜜料理を作り、ケアプラザの周知にも繋がりました。
- 今年度で3回目の冷え対策講座を4回連続で上郷地区センターと共催で実施しました。医学的には治療が難しい冷えの本質を知り、日常の生活で工夫できる事を実践で体験し学びました。参加者は皆顔馴染みではないのに、回を重ねる毎に和やかな雰囲気となり、ケアプラザの他の事業に参加する等、発展的な要素が見られました。
- 男性限定の「メンズ厨房」を地区センターと共催で実施し、今年で4回目となりました。参加者は6名と少なかったのですが、料理好きな人達が集まり講師の男性向けのレシピが上手くはまり、大いに好奇心を満足させる事が出来ました。参加者が地域に関心を向ける機会にもなり、広がりを感じました。
- 口腔相談を通年で受けましたが、電話での問い合わせだけで相談には繋がりませんでした。次年度は周知方法から見直しをする予定です。
- 今年で4回目となる干し野菜料理講座は毎回試食の時に驚きの声が上がります。味も食感も栄養素も変化し、今迄にない料理になります。講師から干し野菜の作り方、保存方法も聞く事が出来、野菜を無駄なく利用するコツも学びました。ケアプラザの調理室は手狭なのですが、より多くの人達に体験して欲しいと思っています。
- 「のしちり寄席」は7月に開催しました。昨年度と同じ団体に依頼をする事が出来、準備にも十分時間をかけて開催する事が出来ました。一応事前の参加申し込みは受けませんが、当日希望者も多いので、状況を見ながら受け付けました。ひと時大いに笑って話芸を楽しんで頂く事でリラックスしてもらえました。定期的に開催する事で待っていて下さる方々も多くなり確実に定着してきたと感じています。
- 医療講座は『めまい』と題して行いました。南部病院の広報との共催で、耳鼻咽喉科の医師による講座となりました。用意した席が満杯になる盛況で、参加者のほとんどがめまいの経験者もしくは治療中の人達でした。良性と心配なめまいの見分け方をしっかり話してもらった後、質問にも丁寧に応じてもらえ、アンケートの記述も大変好意的な物が多かったです。南部病院のHPにも載せられたり、チラシも病院内に置かれた事から、区外からの申込みも目立ちました。

5 その他

以下、地域ケアプラザ事業実施評価との相違部分

施設の適正な管理について

(1) 施設の維持管理について

- 施設設備等の専門業者による定期的な保守点検・館内清掃・植栽剪定・害虫駆除等を実施しました。
- 感染症対策の一環として、手指消毒用のアルコール・嗽用紙コップの常設、2次感染や感染拡大予防のための感染症対応キットの設置にしています。
- 全職員による毎日の環境整備の実施において、施設設備等の不具合の早期発見、ケアプラザ周辺及び館内の清掃による施設の清潔保持に努めるなど、建物・設備環境を良好に整え、適正な維持管理に努めました。

(2) 効率的な運営への取組について

- 公的施設であることから、指定管理者として地域ケアプラザの役割を認識し、各事業の連携を密にして地域課題の共有化を図り、関係機関や地域の団体等と役割を分担し、協働して事業に取り組みました。
- 法令遵守を基本に、風通しの良い職場づくりに努め、コンプライアンスの推進に努めました。
- 経費削減、資源の有効活用を心掛けるなど、予算内での適正な管理・運営を行い、効率的で効果的な施設運営に努めました。

(3) 苦情受付体制について

- 苦情の受付体制として、苦情受付担当者、苦情解決責任者、第三者委員会を設置するとともに、「苦情受け体制」「苦情受付体制のフローチャート」「地域ケアプラザ以外の苦情受付窓口の案内」を地域ケアプラザ情報ラウンジに掲示しました。
- 「ご意見箱」や法人の理事長へ直接申し立てできる「理事長への意見箱」を設置し、いつでも要望・苦情申し立てがしやすい環境を整備しています。

(4) 緊急時（防犯・防災・その他）の体制及び対応について

- 日常業務の中で実施する研修や避難訓練を通して、防犯・防災に関する職員の意識向上に努めました。
- 利用者の急病を含む緊急時は、法人で整備している緊急連絡体制をもとに、職員が携帯するスタッフハンドブックに記載されている緊急連絡網を使い報告・連絡・対応が速やかに行えるよう整備しております。
- 警備会社による機械警備や地域交番による巡回パトロール、地域の防犯パトロール隊にご協力頂き、関係機関との連携を通して事故・防犯・防災体制を強化しています。
- 発災時における利用者の安全確保のため、災害時簡易マニュアル、緊急避難案内図、火災用タオルを各室に設置し、利用者に貸館利用時等に周知しました。

(5) 事故防止への取組について

- 日常業務の中で起こるヒヤリハットの報告を義務付け、地域ケアプラザ職員会議等

で情報共有するとともに、再発防止計画を立案し、ヒヤリハット発生日の翌月末に再発防止計画の効果確認を行い、積極的に事故予防を図りました。

○「環境整備担当者」は、毎日施設内外の設備の目視点検や防犯巡回を実施しました。

(6) 個人情報保護の体制及び取組について

- 地域ケアプラザ全職員に個人情報保護に関する研修を実施し、研修報告書と誓約書の提出を義務付け法令遵守に努めました。
- 地域ケアプラザ（指定管理業務）に関わる文書保存期間である5年間、その他、社会福祉法人会計基準等の基準に従い、文書、パソコンやUSBメモリ等の記録媒体についても鍵のかかる書棚等に適正に保管し、盗難・紛失防止、個人情報保護に努めました。

(7) 情報公開への取組について

- 法人のホームページやブログ、ケアプラザニュースにより、積極的に情報公開・発信に努めました。
- 地域ニーズにあわせ、様々な活動団体のパンフレットや情報紙を情報ラウンジや相談室に配架し、情報発信に努めました。

(8) 人権啓発への取組について

- ケアプラザの職員全員が人権について正しく理解し広く啓発していけるよう、職員研修や申し送りの中で権利擁護について勉強会等を実施しました。
- 法人に関係する全ての利用者の人権を尊重し、侵害しないことを具体的な行動で示すことが出来るように「宣誓書」を作成し情報ラウンジに掲示しております。
※横浜市野七里地域ケアプラザ 宣誓
「足を運んでくださった全ての方に立ち止まって笑顔でご挨拶をします。」

(9) 環境等への配慮及び取組について

- 「ヨコハマ 3R 夢プラン」に基づき、ごみの分類表を掲示し地域ケアプラザ全職員に周知することで、ごみの少量化や資源化に取り組みました。
- ごみの分別やリサイクルだけでなく、ごみそのものを減らすリデュース（発生抑制）の取組を推進することで、ごみ処理に伴う環境負荷の更なる低減を図りました。
- 服装は夏季クールビズ・冬季ウォームビズを推奨し、外出時はできるだけ燃焼エネルギーを使用しない徒歩、自転車、公共交通機関を利用することで温暖化対策・CO2削減にも取り組んでいます。
- 地域ケアプラザ利用者には、ご理解をいただきながら、冷暖房の設定温度を定めるとともに、夏季にはグリーンカーテンを実施することで室内温度上昇を抑えています。
- こまめな消灯や事務機器未使用時の電源 OFF の徹底等、節電に対する取り組みも継続して実施しました。

介護保険事業

● 指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業

《職員体制》

管理者 1 名

《目標に対する成果等》

- インフォーマル、フォーマルに関わる資源がチームとなりご本人のサポートが出来るよう調整しました。
- 出来る力の再確認をする事により、本人の自信に繋がるようプランの作成を本人、家族と一緒にいきサービス調整をしました。
- ③ 本人、ご家族に介護保険情報を最新でお届けできるように研修や情報収集を行ないました。

《実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）》

- 無し

《その他（特徴的な取組、PR等）》

《利用者実績》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
175	179	183	185	213	215
10月	11月	12月	1月	2月	3月
186	198	196	198	197	210

● 居宅介護支援事業

《職員体制》

管理者 1名（常勤兼務）
 介護支援専門員 2名（常勤専従1名・非常勤専従1名）

《目標に対する成果等》

- 利用者の意思を尊重し、心身の状況や生活環境に配慮し自立した日常生活を営む事ができるよう、ケアプラン作成に努めました。
 また、利用者家族の立場にも立ち、思いに耳を傾け、負担なく介護ができるよう支援しました。
- 介護保険事業所、行政機関、医療機関、民生委員等と連携協力し、利用者の在宅生活支援を行いました。
- 地域包括支援センターと連携し、ケースの積極的な受け入れに努めました。
- 地域活動交流事業、生活支援体制整備事業と連携協力し地域の様々な社会資源の把握に努め、利用者が適切なサービスを利用できるよう支援しました。
- 同法人ケアプラザとの勉強会を定期的に開催しました。
 また、外部研修に積極的に参加し、ケアマネジメント力のスキルアップができるよう努めました。

《実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）》

●無し

《その他（特徴的な取組、PR等）》

- 地域包括支援センターと連携協力し、困難ケースや緊急ケースについて積極的な受け入れを行っています。
- 地域活動交流コーディネーター、生活支援コーディネーターと連携協力し、地域社会資源の情報共有を行っています。
- 地域包括支援センター、地域活動交流事業、生活支援体制整備事業、居宅介護支援専門員と連携し、担当者不在でも緊急対応がとれるよう体制を整えています。

《利用者実績》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
65	65	66	68	73.5	72
10月	11月	12月	1月	2月	3月
70	70.5	75	69	71	74

平成30年度「野七里地域ケアプラザ」
収支予算書及び報告書（一般会計）＜地域活動交流＞

収入の部 (単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	16,586,402	0	16,586,402	16,586,402	0	横浜市より
利用料金収入			0		0	
指定管理料充当 事業	0		0		0	
自主事業収入			0	238,300	△ 238,300	
雑入	0		0	461,370	△ 461,370	
印刷代	0		0	181,581	△ 181,581	
自動販売機手数料			0	229,500	△ 229,500	
駐車場利用料金収入			0	0	0	
その他（指定管理料充当分）	0		0	50,289	△ 50,289	
その他（施設使用料相当額 法人負担分）			0		0	
その他（提案時控除 法人負担分）			0		0	
収入合計	16,586,402	0	16,586,402	17,286,072	△ 699,670	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	10,200,000	0	10,200,000	9,205,840	994,160	
本俸	6,530,870		6,530,870	6,177,578	353,292	
社会保険料	1,351,480		1,351,480	1,076,914	274,566	
手当計	2,285,172		2,285,172	1,918,280	366,892	
健康診断費	17,478		17,478	18,068	△ 590	
勤労者福祉共済掛金	15,000		15,000	15,000	0	ハマみれんど
退職給付引当金繰入額			0	0	0	
その他			0	0	0	
事務費	771,429	0	771,429	1,562,217	△ 790,788	
旅費	5,020		5,020	8,838	△ 3,818	
消耗品費	183,192		183,192	295,227	△ 112,035	
会議備い費	69,185		69,185	63,332	5,853	
印刷製本費	70,000		70,000	165,494	△ 95,494	
通信費	100,000		100,000	223,673	△ 123,673	
使用料及び賃借料	0	0	0	8,400	△ 8,400	
横浜市への支払分			0	0	0	
その他			0	8,400	△ 8,400	
備品購入費	17,741		17,741	0	17,741	
図書購入費	50,393		50,393	86,712	△ 36,319	
施設賠償責任保険	122,188		122,188	184,686	△ 62,498	
職員等研修費	18,256		18,256	16,914	1,342	
振込手数料	1,225		1,225	4,050	△ 2,825	
リース料	68,688		68,688	302,491	△ 233,803	
手数料	5,541		5,541	650	4,891	
地域協力費	60,000		60,000	50,000	10,000	
その他		0	0	151,750	△ 151,750	
事業費	1,070,572	0	1,070,572	948,103	122,469	
運営協議会経費	42,000		42,000	40,717	1,283	
指定管理料充当 事業	1,028,572		1,028,572	907,386	121,186	
管理費	3,728,401	0	3,728,401	2,837,324	891,077	
建築物・建築設備点検	65,829	0	65,829	29,989	35,840	
光熱水費	1,229,500		1,229,500	1,094,512	134,988	
電気料金			0	949,710	△ 949,710	
ガス料金			0	16,920	△ 16,920	
水道料金			0	127,882	△ 127,882	
清掃費	690,068		690,068	439,635	250,433	
修繕費	474,000	0	474,000	457,356	16,644	
機械設備費	429,605		429,605	179,172	250,433	
設備保全費	839,399	0	839,399	636,660	202,739	
空調衛生設備保守	170,038		170,038	162,611	7,427	
消防設備保守	110,058		110,058	59,971	50,087	
電気設備保守	98,966		98,966	48,879	50,087	
害虫駆除清掃保守	82,252		82,252	37,200	45,052	
駐車場設備保全費	0		0	0	0	
その他保全費	378,085		378,085	327,999	50,086	
共益費			0	0	0	
その他			0	0	0	
公租公課	816,000	0	816,000	736,467	79,533	
事業所税	816,000		816,000		816,000	
消費税			0	736,467	△ 736,467	
印紙税			0		0	
その他（ ）			0		0	
事務経費（計算根拠を説明欄に記載）	0	0	0	0	0	
本部分			0		0	
当該施設分			0		0	
二一ス対応費			0		0	
支出合計	16,586,402	0	16,586,402	15,289,951	1,296,451	
差引	0	0	0	1,996,121	△ 1,996,121	

自主事業費収入			0	238,300	△ 238,300	自主事業への参加料等
自主事業費支出			0	907,386	△ 907,386	自主事業経費
自主事業収支	0	0	0	△ 669,086	669,086	
管理許可・目的外使用許可収入	0		0		0	駐車場利用料金・自動販売機手数料収入等法人収入
管理許可・目的外使用許可支出	0		0	0	0	使用料（横浜市への支払等）
管理許可・目的外使用許可収支	0		0	0	0	

平成30年度「野七里地域ケアプラザ」
収支予算書及び報告書（特別会計）＜包括・介護予防・生活支援＞

収入の部

(単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料（包括）	18,839,202	0	18,839,202	18,839,202	0	横浜市より
指定管理料（介護予防）	151,000		151,000	151,000	0	横浜市より
指定管理料（生活支援）	5,789,000		5,789,000	5,789,000	0	横浜市より
利用料金収入			0	0	0	
指定管理料充当事業（包括）	0		0	0	0	
指定管理料充当事業（介護予防）	0		0	0	0	
指定管理料充当事業（生活支援）	0		0	0	0	
自主事業収入			0	348,500	△ 348,500	
雑入	0	0	0	69,000	△ 69,000	
印刷代	0		0	0	0	
自動販売機手数料	0		0	0	0	
駐車場利用料金収入	0		0	0	0	
その他（指定管理充当分）	0		0	69,000	△ 69,000	
その他（提案時控除 法人負担分）			0	0	0	
収入合計	24,779,202	0	24,779,202	25,196,702	△ 417,500	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	21,180,000	0	21,180,000	18,498,851	2,681,149	
本俸	12,693,250		12,693,250	10,461,125	2,232,125	
社会保険料	2,438,481		2,438,481	2,327,426	111,055	
手当計	6,004,145		6,004,145	5,680,345	323,800	
健康診断費	23,124		23,124	14,555	8,569	
勤労者福祉共済掛金	21,000		21,000	15,400	5,600	ハマふれんど
退職給付引当金繰入額			0	0	0	
その他			0	0	0	
事務費	514,286	0	514,286	1,089,171	△ 574,885	
旅費	13,213		13,213	12,226	987	
消耗品費	144,597		144,597	207,387	△ 62,790	
会議贈り費			0	1,500	△ 1,500	
印刷製本費	70,000		70,000	142,572	△ 72,572	
通信費	100,000		100,000	205,311	△ 105,311	
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	
横浜市への支払分	0		0	0	0	
その他	0		0	0	0	
備品購入費	35,640		35,640	0	35,640	
図書購入費	3,435		3,435	0	3,435	
施設賠償責任保険	101,047		101,047	119,362	△ 18,315	
職員等研修費	43,065		43,065	51,164	△ 8,099	
振込手数料	289		289	864	△ 575	
リース料			0	195,438	△ 195,438	
手数料			0	0	0	
地域協力費	3,000		3,000	0	3,000	
その他		0	0	153,347	△ 153,347	
事業費	2,015,715	0	2,015,715	2,017,488	△ 1,773	
協力医	630,000		630,000	504,000	126,000	
指定管理料充当 事業（包括）	925,715		925,715	1,109,476	△ 183,761	
指定管理料充当 事業（介護予防）	151,000		151,000	168,528	△ 17,528	
指定管理料充当 事業（生活支援）	309,000		309,000	235,484	73,516	
管理費	1,069,201	0	1,069,201	754,216	314,985	
建築物 建築設備点検	17,486		17,486	7,971	9,515	
光熱水費	346,358	0	346,358	290,945	55,413	
電気料金			0	252,454	△ 252,454	
ガス料金			0	4,497	△ 4,497	
水道料金			0	33,994	△ 33,994	
清掃費	202,967		202,967	116,865	86,102	
修繕費	126,000		126,000	121,571	4,429	
機械警備費	133,730		133,730	47,628	86,102	
設備保全費	242,660	0	242,660	169,236	73,424	
空調衛生設備保守	49,106		49,106	43,225	5,881	
消防設備保守	33,162		33,162	15,941	17,221	
電気設備保守	30,213		30,213	12,993	17,220	
害虫駆除清掃保守	25,770		25,770	9,888	15,882	
駐車場設備保全費			0	0	0	
その他保全費	104,409		104,409	87,189	17,220	
共益費			0	0	0	
その他			0	0	0	
公租公課	0	0	0	0	0	
事業所税			0	0	0	
消費税	0		0	0	0	
印紙税			0	0	0	
その他（ ）			0	0	0	
事務経費（計算根拠を説明欄に記載）	0	0	0	0	0	
本部分			0	0	0	
当該施設分			0	0	0	
二一ス対応費			0	0	0	
支出合計	24,779,202	0	24,779,202	22,359,726	2,419,476	
差引	0	0	0	2,836,976	△ 2,836,976	

自主事業費収入	1,385,715		1,385,715	348,500	1,037,215	自主事業への参加料等
自主事業費支出	1,385,715		1,385,715	1,513,488	△ 127,773	自主事業経費
自主事業収支	0		0	△ 1,164,988	1,164,988	

管理許可 目的外使用許可収入			0	0	0	駐車場利用料金・自動販売機手数料収入等法人収入
管理許可 目的外使用許可支出			0	0	0	使用料（横浜市への支払等）
管理許可 目的外使用許可収支	0	0	0	0	0	

★指定管理業務・委託業務として実施している介護保険事業のみ、対象です。

平成30年度 地域ケアプラザ収支予算書及び報告書<介護保険事業分>

平成30年4月1日～平成31年3月31日

施設名:野七里地域ケアプラザ

(単位:千円)

	科目	介護予防支援			居宅介護支援			通所介護			予防通所介護・第1号通所介護		
		予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引
収入	介護保険収入	4200000	3248817	951183	14400000	10159543	4240457			0			0
	その他	5400000	0	5400000	600000	0	600000	0	0	0	0	0	0
	介護予防ケアマネジメント費	5400000		5400000	600000		600000			0			0
	事業・負担金収入	0		0	0		0			0			0
				0			0			0			0
				0			0			0			0
				0			0			0			0
	収入合計(A)	9600000	3248817	6351183	15000000	10159543	4840457	0	0	0	0	0	0
支出	人件費	0		0	13000000	9465936	3534064			0			0
	事務費	300000	198947	101053	500000	384745	115255			0			0
	事業費	200000	175990	24010	400000	223434	176566			0			0
	管理費	400000	278345	121655	600000	168077	431923			0			0
	その他	840000	0	840000	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	利用者負担軽減額	0		0			0			0			0
	消費税	0		0			0			0			0
	介護予防プラン委託料	840000		840000			0			0			0
				0			0			0			0
				0			0			0			0
	支出合計(B)	1740000	653282	1086718	14500000	10242192	4257808	0	0	0	0	0	0
	収支(A)-(B)	7860000	2595535	5264465	500000	-82649	582649	0	0	0	0	0	0

※ 介護予防プランを他事業者へ委託する場合の取扱は、介護報酬を一旦全額収入に計上した後、他事業者へ委託料として支払う分を支出に計上してください。

※ 上記以外の事業を実施している場合は、事業ごとに列を追加して記載してください。

平成30年度 自主事業収支報告書

横浜市野七里地域ケアプラザ

事業名	①募集対象者	自主事業決算額							
	②募集人数	総経費	収入			支出			
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	その他	講師謝金	材料費	その他	
大人の趣味講座	地域の方	42834	地活	27334	15500	0	20046	22648	140
	延べ21名		包括						
	①500円 11名		介護						
	②1,000円 10名		生活						
歌声喫茶	地域の方	41456	地活	23456	18000	0	26728	14308	420
	延べ128名		包括						
	200円(サロンで開催した時は無料:38名参加)		介護						
			生活						
春のポールウォーキング (上郷地区センター共催)	地域の方	19564	地活	19564	0	0	18932	489	143
	延べ21名全4回		包括						
	4回で400円(地区センター収入)		介護						
			生活						
地元ごひいき講座	地域の方	44984	地活	26484	18500	0	26728	17912	344
	延べ37名		包括						
	500円		介護						
			生活						
よこはまシニアボランティア アポイント	65歳以上の横浜市民	270	地活	270	0	0	0	0	270
	7名		包括						
	無料		介護						
			生活						
DIY子ども工作教室	地域の小学生	4304	地活	4304	0	0	0	784	3520
	25名		包括						
	無料		介護						
			生活						
栄区若年性認知症の人 とその家族を支える会 「笑風の会」	若年性認知症患者とその家族	32984	地活	21584	11400	0	0	32884	100
	21名		包括						
	講座参加者17名 ¥600		介護						
	4名		生活						
あなたの地域デビュー 応援します	地域の方	11977	地活	11977	0	0	6682	4317	978
	延べ30名(全3回講座)		包括						
	無料		介護						
			生活						
発達障がいと感覚・運動 の発達について	発達障がいのある子を持つ保護者	511	地活	511	0	0	0	0	511
	40名		包括						
	無料		介護						
			生活						
1日だけの健康麻雀教室 (いいじゃん会栄共催)	地域の方	65	地活	65	0	0	0	0	65
	28名		包括						
	300円(いいじゃん会・栄収入)		介護						
			生活						
のしちり秋の文化祭	地域の方	69098	地活	67998	0	1100	3341	64721	1036
	295名		包括						
	無料		介護						
			生活						
昭和歌謡で昔に帰ろう	地域の方	8635	地活	2435	6200	0	5568	2771	296
	31名		包括						
	200円		介護						
			生活						

事業ごとに別紙に記載してください。

平成30年度 自主事業収支報告書

横浜市野七里地域ケアプラザ

事業名	①募集対象者	自主事業決算額							
	②募集人数	総経費	収入			支出			
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	その他	講師謝金	材料費	その他	
キッズクッキング・ラボ	小学生	12103	地活	10103	2000	0	6682	5279	142
	4名		包括						
	500円		介護						
			生活						
地域防災拠点訓練	地域の防災拠点として	339	地活	339	0	0	0	0	339
	庄戸小・旧庄戸中・旧野七里小		包括						
			介護						
			生活						
ボランティア交流会	ケアプラザで活動するボランティア団体及び個人	66560	地活	66560	0	0	0	66560	0
	45名		包括						
	無料		介護						
			生活						
頑張るママのお助け講座	入園・入学を控えた子を持つ母親	8908	地活	8908	0	0	8908	0	0
	延べ16名(全2回)		包括						
	無料		介護						
			生活						
講演会 もっと自分を好きになろう～子どもと私の自尊感情を育てる～	子育て中の保護者	81432	地活	80932	0	500	71276	7510	2646
	40名		包括						
	無料		介護						
			生活						
認知症予防 野七里スリーA 「なずなの会」	地域の方	12970	地活	12970	0	0	0	12880	90
	延べ272名		包括						
	無料		介護						
			生活						
夏の夕べに 親子でバドミントン	小学4年生～中学生の親子	11358	地活	6358	5000	0	8909	1556	893
	10組(20名)		包括						
	500円		介護						
			生活						
貸室説明会	貸室利用団体	13482	地活	13482	0	0	0	13482	0
	延べ93名全2回		包括						
	無料		介護						
			生活						
のしちり ほっこりカフェ	地域の方	89121	地活	70121	19000	0	41206	40125	7790
	延べ190名(年5回)		包括						
	100円		介護						
			生活						
パソコン講座	地域の方	3974	地活	3974	0	0	0	3909	65
	延べ49名(年2回)		包括						
	無料		介護						
			生活						
ヨガで心身健康アップ	地域の方	140665	地活	10665	130000	0	105802	34644	219
	26名		包括						
	5000円(全10回)		介護						
			生活						
げんきっこひろば	未就園児とその保護者	80062	地活	68962	11100	0	0	79630	432
	延べ765名		包括						
	無料(食事会:子ども100円大人300円)		介護						
			生活						

事業ごとに別紙に記載してください。

平成30年度 自主事業収支報告書

横浜市野七里地域ケアプラザ

事業名	①募集対象者	自主事業決算額							
	②募集人数	総経費	収入			支出			
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	その他	講師謝金	材料費	その他	
野七里ケアプラザNEWS (広報誌)	地域一般	103480	地活	103480	0	0	0	25325	78155
	年10回発行		包括						
	無料		介護						
			生活						
小学生の保育士体験	地域の小学生	2750	地活	2750	0	0	0	2274	476
	10名		包括						
	無料		介護						
			生活						
ほのぼのコンサート	地域の保育園児と高齢者 施設入居者・貸室団体及 び地域の方	3640	地活	3640	0	0	0	3640	0
	特に定めず		包括						
			介護						
	無料		生活						
			地活						
			包括						
			介護						
			生活						
			地活						
			包括						
			介護						
			生活						
			地活						
			包括						
			介護						
			生活						
			地活						
			包括						
			介護						
			生活						
			地活						
			包括						
			介護						
			生活						
			地活						
			包括						
			介護						
			生活						

事業ごとに別紙に記載してください。

平成30年度 自主事業収支報告書

横浜市野七里地域ケアプラザ

事業名	①募集対象者	自主事業決算額						
	②募集人数	総経費	収入			支出		
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	その他	講師謝金	材料費	その他
上郷西地区サロンボランティア交流会	上郷西地区サロン	10088	地活					
	延べ43名		包括					
	なし		介護					
			生活	10088	0	0	0	10088
寄せ植えガーデニング講座	地域	57595	地活					
	延べ70名		包括					
	500円/各(1・2回目のみ)		介護					
			生活	41395	17500	0	16200	2239
			地活					
			包括					
			介護					
			生活					
			地活					
			包括					
			介護					
			生活					
			地活					
			包括					
			介護					
			生活					
			地活					
			包括					
			介護					
			生活					
			地活					
			包括					
			介護					
			生活					

事業ごとに別紙に記載してください。

平成30年度 自主事業収支報告書

横浜市野七里地域ケアプラザ

事業名	①募集対象者	自主事業決算額							
	②募集人数	総経費	収入			支出			
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	その他	講師謝金	材料費	その他	
のしちり寄席	地域の方	17,800	地活	0	0	16,705	942	153	
	50名		包括						17,800
	無料		介護						
			生活						
ぎゅっと詰まった はちみつの良い話	地域の方	47829	地活	7,000	0	31,974	15,855	0	
	15名		包括						40,829
	500円		介護						
			生活						
食べる事は生きる力	地域の方	498	地活	0	0	0	0	498	
	30名		包括						498
	無料		介護						
			生活						
園芸講座	園芸ボランティア	10381	地活	0	0	0	10,381	0	
	2名		包括						10,381
	無料		介護						
			生活						
昭和歌謡で昔に帰ろう	地域の方	5720	地活	0	0	5,568	0	152	
	50名		包括						5,720
	無料		介護						
			生活						
医療講座 めまい	地域の方	313	地活	0	0	0	0	313	
	40名		包括						313
	無料		介護						
			生活						
とっておき 冷え対策講座	地域の方	50,670	地活	4,000	0	50,508	0	153	
	15名		包括						46,670
	¥500		介護						
			生活						
健康の作り方 測定会	地域の方	193	地活	0	0	0	0	193	
	20名		包括						193
	無料		介護						
			生活						
お針箱講座	地域の方	26,378	地活	5,500	0	0	24,698	1,680	
	10名		包括						20,878
	¥500		介護						
			生活						
メンズ厨房	男性	25,809	地活	3,000	0	25,734	0	75	
	15名		包括						22,809
	¥500		介護						
			生活						
のしちり健康作り体操	地域の方	492,427	地活	112,000	0	385,000	0	70,760	
	20名/回		包括						380,427
	500		介護						
			生活						
イージー体操	地域の方	432,062	地活	213,500	0	406,080	0	25,982	
	20名/回		包括						218,562
	500円		介護						
			生活						

事業ごとに別紙に記載してください。

平成30年度 自主事業収支報告書

横浜市野七里地域ケアプラザ

事業名	①募集対象者	自主事業決算額							
	②募集人数	総経費	収入			支出			
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	その他	講師謝金	材料費	その他	
みんなで勉強会①	ケアマネジャー	3,240	地活	0	0	0	0	0	3240
	20名		包括						
	無料		介護						
			生活						
民生委員さんのための勉強会①	民生委員	22274	地活	0	0	0	22,274	0	0
	30名		包括						
	無料		介護						
			生活						
民生委員さんのための勉強会②	民生委員	25792	地活	0	0	0	22274	3518	0
	30名		包括						
	無料		介護						
			生活						
みんなで勉強会②	ケアマネジャー	5644	地活	0	0	0	0	5,644	0
	20名		包括						
	無料		介護						
			生活						
介護者のつどい	地域の介護者の方	56164	地活	0	0	0	51537	4627	0
	各10名		包括						
	無料		介護						
			生活						
介護施設の選び方	地域の方	1790	地活	0	0	0	0	0	1790
	30名		包括						
	無料		介護						
			生活						
介護施設見学バスツアー	地域の方	2100	地活	0	0	0	0	300	1800
	20名		包括						
	無料		介護						
			生活						
古い支度セミナー	地域の方	4638	地活	0	0	0	2632	0	2006
	30名		包括						
	無料		介護						
			生活						
エンディングノートの書き方と相続講座	地域の方	4110	地活	0	0	0	3240	0	870
	30名		包括						
	無料		介護						
			生活						
権利擁護相談会	地域住民・福祉保健関係者・介護保険事業者等	3341	地活	0	0	0	3341	0	0
	6名		包括						
	無料		介護						
			生活						
楽しく学ぶ『成年後見制度の話』	地域の方	12411	地活	0	0	0	11136	0	1275
	30名		包括						
	無料		介護						
			生活						
			地活						
			包括						
			介護						
			生活						

事業ごとに別紙に記載してください。

平成30年度 自主事業報告書

横浜市野七里地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
上郷東地域見守りネットワーク (後方支援)	第3期地域福祉保健計画推進母体である上郷東地域見守りネットワークの事務局として後方支援を行う。今年度は地福計画の3つの柱の内、取組みが遅れている「連携・ネットワーク」の更なる強化をめざして町会・自治会会長や民生委員をはじめとする各種団体との話し合いが行われた。また「連携」という視点から、災害時の要援護者支援について地域ぐるみでの助け合いを実現する為の取組みについて話し合いが行われ、意見交換会では各町会自治会の取組を通した課題が浮き彫りになった。	定例会：毎月第3水曜日 全体会：7月・11月

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
地域防災拠点訓練	地域防災拠点定例会に出席し、福祉避難所としての役割や要援護者支援についての説明をおこなう。また、拠点の訓練では要援護者支援訓練として車椅子の基本的な操作方法の講習を行ってきたが、訓練内容が年々変化し、拠点開設訓練に重きを置くようになってきた。また、旧庄戸中では初めて開設訓練としてDIG訓練を行った。	定例会月1回 訓練は年2回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
子どもカフェ上郷 (後方支援)	地域の子どもが気軽に足を運べる居場所作りと同年齢の子ども達や地域の大人達と遊んだり一緒に食事を摂ったりしながら交流を図る。偶数月は夕方から夜にかけて野七里地域ケアプラザで、奇数月は午前から昼過ぎにかけて上郷地区センターで開催。同年代の子どもや大人達と一緒にカードゲームや将棋・囲碁をしたり卓球をする。様々な年代の人達と話をしながら食事を摂るのも楽しみの一つになっている。	月1回 偶数月 野七里地域ケアプラザ 16:00~17:00 奇数月 上郷地区センター 11:00~14:00

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
みんなの学習室 (後方支援)	地域の有志の方達を中心となって2月より中学生を中心とした地域の生徒(主に上郷中学校)にむけて学習支援を行う。講師は地域の方達ではほぼマンツーマンでわからない所を教える。勉強の遅れが見られる子どもや塾に行けない子どもを対象とする。ケアプラザは後方支援として部屋の確保と周知を行う。	月曜～金曜 17:00~19:00 但し、祝日・ケアプラザ休館日は休みとする。

平成30年度 自主事業報告書

横浜市野七里地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
のしちりほっこりカフェ	高齢者を中心に閉じこもりの防止、仲間づくりの場、集いの場の提供と共に、ボランティアの育成と地域の誰もが気軽に来れる居場所作りをめざす。 音楽や踊り、体操などを通して地域の方達に楽しんでもらう。講師を地域の方や企業などが行う場合もある。今年度から地域の高齢者施設のご入居者の参加もあり、より地域に根付いた会になりつつある。また、お茶の時間を設けて参加者同士のおしゃべりを通して情報交換などを行ったり、そこから相談につなげたりする。	年5回 5月・7月・10月・ 1月・3月

事業名	目的・内容	実施時期・回数
パソコン講座	地域の方にむけたパソコン技術の習得と地域の方との交流を図る講座。引きこもり防止や生きがい作りも目指した。ケアプラザのパソコンサークルの方達が講師となって、パソコンの初心者向けの講座を開催。今年度は6月にチラシの作成を行った。	年2回 6/16・11/24

事業名	目的・内容	実施時期・回数
歌声喫茶	歌う事が好きな地域の方が多い中、アコーディオンの伴奏に合わせて懐かしい歌や唱歌を歌い、地域の人達との交流を図る。大きな声で歌う事により、健康にもよく、また、引きこもり防止も目的とした。 今年度は今迄参加者の少なかった上郷地区・東上郷地区で開催した。上郷地区はセレモホール上郷に会場を借りて行い周知の面でも協力してもらった。東上郷地区ではサロン(カフェみどり)と共催で行った。	年4回 5/29・7/25・ 10/29・1/25

事業名	目的・内容	実施時期・回数
春のポールウォーキング	地域の方の健康作り。ポールウォーキングでの介護・転倒予防。仲間づくりをして自主的な活動に繋げていきたい。上郷地区センターと共催で、講師を招いての4回講座。まず屋内で歩き方の基本をしっかりと学んで貰い実際に外で歩く予定だったが、今年は天候に恵まれず屋内での講座が殆どとなった。身体のあらゆる部分を意識して使う事で、姿勢改善繋がる事や日頃使わない筋肉を使って身体を動かすなど、歩くだけではなく全身を使って歩く方法を学んだ。	全4回講座 5/16・23・30・6/6

平成30年度 自主事業報告書

横浜市野七里地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
げんきっこひろば	地域に向けた子育て支援事業として、未就園児とその親の集いの場。季節の行事を大切に、遠足や食事会等を行い親子の交流を図る。地域の子育て経験者のボランティアが中に入り、母親達の話し相手や相談相手として参加し子どもの少ない地域で一人で子育てに奮闘している母親達が、ほっと一息できる居場所となっている。また、母親同士の情報交換の場ともなっており、卒業後も家族ぐるみの交流が続いている。	毎週金曜日 (祝日は除く)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ほのぼのコンサート	多世代交流も主な目的に、近隣の保育園および高齢者施設・貸室利用団体・関係機関・地域の方達が集まって演奏会を行う。音楽に合わせて全員で歌ったり、踊ったり楽しい時間を共有しながら交流を図る。	6月 1月はインフルエンザの為に中止

事業名	目的・内容	実施時期・回数
栄区若年性認知症の人とその家族を支える会	若年性認知症の当事者とその家族の集いを栄区6館のケアプラザ(主に地域活動交流与包括・社会福祉士)で開催。毎月の事務局会議と年3回の集い(笑風の会)を通して、当事者同士の交流や家族の相談や情報交換を行う。笑風の会は本人の会と家族の会に分かれて行っており、家族の会は長く参加している方が新規に参加された方へ自分の体験から相談にのったり、アドバイスをするなど自主的な活動に広がってきている。	事務局会議：毎月 笑風の会：6月・11月・2月

事業名	目的・内容	実施時期・回数
あなたの地域デビュー応援します	ボランティアを始める人だけでなく、既に活動を始めている人達にも向けて、地域の中で支援が必要な人達に対する理解を深めてもらう。今回は「知る」を一番の目的に得た知識をこれからの活動に繋げてもらうことをねらいとした。全3回講座で、第1回：ガイドボランティアについて 第2回：認知症について(認知症サポーター養成講座) 第3回：発達障がいについて を開催した。	9月全3回講座

平成30年度 自主事業報告書

横浜市野七里地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
ボランティア交流会	ケアプラザで活動している個人・団体ボランティアに集まってもらい、食事を摂りながらお互いの活動内容を報告し、交流を図った。また、近隣の高齢者施設職員にも参加して貰い、施設の概要と募集しているボランティアにちて話をしてもらふことにより、活動場所を身近に感じてもらふと同時に、施設と地域の関わりのきっかけ作りを行った。また、アンケートで「あなたにとってボランティアとは」と言う問いに対し、全体的に地域に対する関心が高く、自分の住む地域を良くする活動にやりがいを感じている方が多い事がわかった。	2月

事業名	目的・内容	実施時期・回数
庄戸小地域と繋ごろう	9月に行った福祉教育をきっかけに、自分の住む地域のケアプラザは何をしている所か、そこで地域の人達がどのような活動をしているか知ってもらふ事を目的とし、4年生がケアプラザに来館、日頃登校時に見守りをを行っているネオポリス防犯パトロールの方達との交流を行った。一緒に3Aゲームを行ったり、小学生はみごとなりコーダーの演奏を披露したりと、日頃挨拶だけの関係だった地域の方達との交流で楽しい時間を過ごした。	1月

事業名	目的・内容	実施時期・回数
庄戸小福祉教育	障がいがある人が特別なのではなく、自分達と同じ人間である事、生活する上で周囲の理解と支援が必要な事を学んでもらった。小学4年生が国語の時間に点字を学習するのをきっかけに、障がいのある人達が生活する上でどのような工夫をしているか体験してもらった。視覚障害のグループは実際に点字を打たせて貰い、聴覚障害のグループでは言葉以外に気持ちを伝える方法を体験してもらった。高齢者のグループは、疑似体験スーツを着用して車椅子の操作をするなど体験中心の講座を行った。	9月

事業名	目的・内容	実施時期・回数
大人の趣味講座	趣味を通して地域の方との交流や新たな仲間・趣味づくりのきっかけとなるような講座を開催した。今年度は「花」を中心に2回行い、多数の参加希望者が集まった。また、日頃ケアプラザを利用される方よりも若い世代の参加が多く、2019年度は年間で講座を開催し、ケアプラザの周知と利用層拡大に繋げて行きたい。	4月・11月

平成30年度 自主事業報告書

横浜市野七里地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
地元ごひいき講座 (包括共催)	地域の人達のニーズが多い料理教室を開催。一人暮らしのための料理や時短料理などを地元の野菜を使って安価に、簡単に日常使える講座を企画。講師も地域の「はまふうどこんじゃるじゅ」の資格を持つ方に旬の野菜をメインにした献立で食からの健康づくりをめざした。	通年

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ヨガで心身健康アップ	年齢を問わない健康作りの一つとして、また、解散した貸室利用団体の中で、継続を希望する方達の受け皿として新しい団体を立ち上げる為に企画した。全10回講座を何度か開催し、人数が安定してきたところで自主化をめざす。	7・8・11・3月

事業名	目的・内容	実施時期・回数
昭和歌謡で昔に帰ろう	歌が大好きな地域の方達にむけて、「歌声喫茶」との二本柱で年間を通して開催した。元レコード会社勤務の講師の巧みな話術と懐かしい昭和歌謡を聴いたり一緒に歌ったりすることで、昔を懐かしむと同時に大きな声を出して歌う事により、認知症予防や健康作りにも繋げる。また、参加者同士の交流を通して新たな仲間づくりもできた。	11月

事業名	目的・内容	実施時期・回数
1日だけの麻雀教室	貸室利用団体「いいじゃん会・栄」と共催で健康麻雀を通じた居場所づくりや認知症予防を目的として、開催。また、参加者の中からはいいじゃん会への参加者も募った。丸1日、出入り自由の会で参加者が気負うことなく気軽に参加し、麻雀を楽しんでもらった。和気藹々とした雰囲気の中で、5名の方が新たに団体に入り、活動が続ける事になった。	10月

平成30年度 自主事業報告書

横浜市野七里地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
小学生の保育士体験	異年齢の子どもに関わる事で優しさや心の豊かさを育み、体験を通して将来の進路に子どもに関わる仕事を選ぶきっかけ作りを目的とした次世代育成の一環として開催した。何年か続いて参加している子もいたが、初めて参加した子も保育士の指導の下一生懸命園児の面倒を見ていた。	8月2日間

事業名	目的・内容	実施時期・回数
夏の夕べに親子でバドミントン(上郷地区センター共催)	親子で身体を動かす時間と場を共有し日頃不足しがちな親子のコミュニケーションの機会を提供し、ケアプラザに馴染みの無い世代への周知を図る。地域のバドミントンチームを講師に親子での練習から、親子チームでの対抗戦を行う。口コミで区外からの参加者も増えつつある。	8月3日間

事業名	目的・内容	実施時期・回数
DIYこども工作教室	DIY協会の協力で小学生の子ども達の自由な発想で好きな木片を使い、好きな物を作ってもらう。物づくりの楽しさと達成感を味わってもらう事を目的とした。一人でいくつもの作品を作る子もいれば、大作をひとつゆっくり仕上げている子もおり個性あふれる講座だった。	6月

事業名	目的・内容	実施時期・回数
キッズクッキング・ラボ	学年を指定せず、小学生のみの料理教室として開催。食べても美味しく飾っても可愛いクリスマスのクッキーを作成した。参加者の子ども達が大人しい子が多く、いわれた事は素直に従うが、自分達からこうしたいという発言が全く無かったのは残念だった。主体的に自分達で考えて進めていけるような講座にしていきたい。	12月

平成30年度 自主事業報告書

横浜市野七里地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
発達障がいと感覚・運動の発達について	貸室利用団体の一つである発達障がいのある親の会の希望で企画した講座。発達障がいのある子供たちの感覚や運動の発達段階での躓きの原因とその対処法をよこはま港南地域療育センターの作業療法士の先生から実践を交えて学んだ。	10月

事業名	目的・内容	実施時期・回数
野七里秋の文化祭	地域の方達への日頃の感謝と利用団体の活動発表の場として開催。近隣の作業所や高齢者施設・子育て支援団体など多くの方達の協力を得て、地域と共に地域に開かれた文化祭となった。	11月

事業名	目的・内容	実施時期・回数
頑張るママのお助け講座 (上郷地区センター共催)	地域の母親達に手作りの楽しさと良さを伝える事を目的に開催。幼稚園や小学校に上がる母親対象にカバンやお弁当袋を作成する。今年度は参加人数が少なく小さい子どもの母親に聞いたところ、ミシンをもっていない家庭も多く手作りよりも安価な製品を購入するほうが早いという意識をもっている事がわかった。	2月2回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
もっと自分を好きになろう～こどもと私の自尊感情を育てる～	子育て中の保護者や地域に向けて自尊感情を持ち、高める事で方の力を抜いて子育てして行こうという提案を行った。ノンフィクションライターであり、自己尊重トレーニングトレーナーでもある北村年子氏を講師にまず、自分を好きになってこどもの「よかったさがし」をする事によって自分も子どもも幸せにな時間をごせるという話をしてもらった。参加者には、日々仕事や子育てに頑張る母親達へのメッセージとして前向きに受け止めて貰えたと感じた。	3月

平成30年度 自主事業報告書

横浜市野七里地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
貸室説明会	貸室利用に関する変更点とケアプラザにおける貸室事業の目的の周知。得に団体Ⅱにむけて活動報告書に記載する福祉保健活動の活動期間の変更と利用に当たってのお願い、利用者アンケートで周知されていないとされた緊急時の避難経路についての説明を中心に行った。	6月

事業名	目的・内容	実施時期・回数
よこはまボランティアポイント登録研修会	シニアボランティアポイントの登録研修会を、地域のケアプラザで開催する事により、より多くの人に参加しやすくなり、ケアプラザ主催の事業を伝える事による個人ボランティアの発掘にもつなげた。シニアボランティアポイントの利用により自分がどれくらい活動したかを把握できることにより、励みになるという声も聞かれた。	3月

事業名	目的・内容	実施時期・回数
認知症予防のしちりスリーA 「なずなの会」 (後方支援)	認知症予防サロンのしちりスリーA「なずなの会」を支援し、地域の認知症の方の集いの場として「あかるく・あたまをつかって・あきらめない」を標語に楽しく笑いながら和気藹々とした雰囲気の中でリーダーを中心に行った。	毎月第2・4木曜

事業名	目的・内容	実施時期・回数
広報誌 「野七里ケアプラザNEWS」	ケアプラザで行われる事業・情報を地域に発信する為のツールのひとつ。上郷東・西地区に回覧を行うと同時に地域のボランティアや近隣施設、町会・自治会長、各種団体などに配布した。広報よこはまや単体のちらしとならび、ケアプラザからの情報発信の一つの手段として活用している。	8・11月以外の月 (年10回発行)

平成30年度 自主事業報告書

横浜市野七里地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
寄せ植え・剪定・ガーデニング講座	<p>目的：地域参加への切っ掛けづくり。特に60代の地域参加があまり少ない年代に、趣味など好きなことから仲間づくりやボランティアの参加のきっかけとなることを目指す。また、庭の手入れを少なくする方法を知り、高齢になっても安心して暮らし続けられるような環境づくりを学んでもらう。助っ人隊との共催事業により、助っ人隊の周知と新規隊員の募集へとつなげる。</p> <p>内容：「野七里助っ人隊」と共催にて、担い手の発掘、活動の参加の切っ掛けづくりとして「剪定・寄せ植えガーデニング講座」を3回行いました。これらの講座に参加した人の中から、「野七里助っ人隊」の活動に2人が加わりました。</p>	<p>3回</p> <p>①10月14日</p> <p>②12月2日</p> <p>③2月16日</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
上郷西地区サロンボランティア交流会	<p>目的：上郷西地区のサロンの活動者と、上郷西地区社協の方と、サロンの抱えている課題や地域の課題を共有し、連携して何が出来るかを考える。</p> <p>内容：地区社協とサロンのボランティアの皆様とサロンの課題を話し合い、今あるサロンを上郷西地区全体で活性化していくために、サロンマップの作成を行うこととなった。交流会の中からサロンマップ実行委員を立ち上げ、各サロンで情報シートの作成を行い、サロン関係者全体でマップを作り上げた。</p>	<p>2回</p> <p>①10月15日</p> <p>②1月21日</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
上郷東地区サロン見守り交流会	<p>目的：上郷東サロン見守り交流会では、地域のサロンや見守りを行っている方の日頃の活動の困りごとや課題、高齢者の見守りについて情報を共有する。</p> <p>内容：事前にサロンの実情についてアンケート調査を行い、それをもとにグループワークを行い「サロン見守り交流会」を実施し、サロン活動を継続していくために、上郷東地区にとってサロン活動が福祉活動の中心となっていることや、見守りにつながっていることを活動している方々と確認した。</p>	<p>1回</p> <p>3月5日</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
栄区ちよこっとボランティア連絡会	<p>目的：栄区はちよこっとボランティアといわれる生活支援のボランティアの団体が多く活躍している。栄区内全体の課題に対し、勉強会を行うと共に、活動の情報交換を行い日々の活動に活かしてもらおう。第1回は栄区全体の課題として認知症の方が増加していることが挙げられている。これに対し、地域で活躍するボランティアの方々に、認知症の理解を深めてもらい今後の活動を広めていき、地域の中で様々な方が暮らしやすい支援をしていく。第2回は活動の中で高齢者に対する見守りの視点をもってもらおうことを目的に行った。</p> <p>内容：栄区内の生活支援ボランティアの方々に認知症に対する勉強会を行い、お互いの活動の情報を交換し、課題を共有し栄区全体で連携しながらさらに活動を進めていけるよう連絡会を行いました。これらのボランティアの方々に第1回目は「認知症に対する勉強会を行い」、お互いの活動の情報を交換し、課題を共有し栄区全体で連携しながらさらに活動を進めていけるよう連絡会を行いました。第2回目は「消費者被害に対する見守り」についての勉強会を行い、活動の中で高齢者に対する見守りについて情報交換を行いました。</p>	<p>2回</p> <p>①8月27日</p> <p>②2月6日</p>

平成30年度 自主事業報告書

横浜市野七里地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
みんなで勉強会 ①	<p>(目的) エリアの高齢者を担当しているケアマネジャーに集ってもらい、介護保険のみではなく様々な分野での知識を深めてもらいより地域に密着したケアマネジメント作成や対応をしてもらうように支援して行く。</p> <p>(内容) ホームケアクリニック横浜のソーシャルワーカーに依頼し医療へのつなぎ方について勉強会を行った。</p>	5/24開催。 25名参加。

事業名	目的・内容	実施時期・回数
民生委員さんのための勉強会①	<p>(目的) 上郷東、上郷西地区の民生委員にお集まり頂き精神疾患について学びを深め地域での対応に役立てることが出来る。</p> <p>(内容) 精神保健福祉士を講師に「精神障害と支え方のポイント」について講演会を行った。</p>	7/30開催。 27名参加。

事業名	目的・内容	実施時期・回数
民生委員さんのための勉強会②	<p>(目的) 上郷東、上郷西地区の民生委員にお集まり頂き精神疾患について学びを深め区内にある関係機関を知り必要時に相談することが出来る。</p> <p>(内容) 生活支援センター職員と、基幹型支援相談センター職員に各機関と機能の役割りの説明と、民生委員と連携した事例を発表して貰い精神保健福祉士から連携の重要性を話して貰った。</p>	8/7開催。 31名参加

事業名	目的・内容	実施時期・回数
みんなで勉強会 ②	<p>(目的) サービスBについて、ケアマネジャーが理解し活用方法について学ぶ。</p> <p>(内容) エリア内のサービスBを実施している事業所から利用方法や内容を説明してもらい質疑応答等でより理解を深めた。また、往診医にも参加してもらい医療、福祉、地域で連携して行く重要性を話してもらった。</p>	3/18開催。 20名参加。

平成30年度 自主事業報告書

横浜市野七里地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
みんなで勉強会 ③	<p>(目的) エリアの高齢者を担当しているケアマネジャーに集ってもらい、介護保険のみではなく様々な分野での知識を深めてもらいより地域に密着したケアマネジメント作成や対応をしてもらうように支援して行く。</p> <p>(内容) ①ホームケアクリニック横浜のソーシャルワーカーに依頼し医療へのつなぎ方について勉強会を行った。 ②栄区役所生活支援課と共催で、アウトリーチパートナー研修を開催した。</p>	<p>5/24開催。25名参加 6/18開催。29名参加。</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
栄区新人ケアマネジャー勉強会 栄区ケアマネジャー勉強会	<p>(目的) ケアマネジャーとして就労3年未満の方を対象に、医療との連携について学び先輩ケアマネジャーからの経験から、関わり等について学ぶ。他機関の利用、連携について学ぶ。また、包括支援センターが相談しやすい窓口となるよう主任ケアマネジャーの顔を知っていただく。</p> <p>(内容) 栄区内の包括支援センター主任ケアマネジャー共催事業。 ＜新人ケアマネ研修＞ ①先輩ケアマネによる医療との連携について。 ②福祉機器センター見学と利用法について。 ＜ケアマネジャー研修＞ ③ハートページ読み方講座 (2回開催)</p>	<p>①7/24開催 24名参加。 ②11/16開催 20名参加。 ③1/29開催 22名参加。 2/13開催 21名参加。</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
医療ケース事例検討会	<p>(目的) 医療ケースを担当した際に、どのように関わり連携をしていったら良いか事例を通し考え今後の業務に役立てていく。</p> <p>(内容) 栄区医師会在宅医療相談室との共催事業。 医療ケース事例をケアマネジャーから出してもらい、医師や看護師の助言のもと、6月はターミナル期の心理サポートについて、1月はACPについて学んだ。</p>	<p>6/2開催。59名参加。 1/21開催。39名参加。</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
介護者のつどい	<p>主に認知症の方を介護しているご家族を対象に、グループワークや話し合いを行う。介護者の精神的な負担の軽減を目的とした介護者同士の情報交換や話し合いの場。認知症のひとと家族の会に講師を依頼し、家族同士で意見交換を行ったり、それぞれの悩みについて助言しあえる場を提供する。今後、自主化に向けて周知とボランティアの呼びかけを行っていく。</p>	<p>6月/10月/2月 ・3回</p>

平成30年度 自主事業報告書

横浜市野七里地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
介護施設の選び方	現在介護をしている方や、高齢になって施設入所を検討している方、またはそのご家族に対して介護施設の種類や入居の手続きについて情報提供する。介護施設の紹介から入居手続きまでを支援している企業に講師を依頼し、入所施設の選び方や入所手続きについての講演会を行う。	10/23・1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
介護施設見学バスツアー	終活セミナーの一環として、老後の住処の選択肢として施設を考えた際に百聞は一見に如かず。その時の前に慌てなくても済む様に情報収集を行う。前週に行われた介護施設の選び方に続き、日頃地域の方より要望の多かった近隣施設の見学会を開催。老健・有料・特養と3種類の施設を見学し各職員より説明を受ける。(老健の湘南グリーン、有料のイリーゼ、特養のクロスハート野七里)	10/31・1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
老い支度セミナー	地域の方々が自分らしい「終活」を行う一つのきっかけ作り。いざとなった時に家族があわてないように元気な内から葬儀やお墓の知識を得ておくことと1月のエンディングノート作成講座へ繋ぐを目的とする。地域の葬儀社に講師を依頼し、遺言や葬儀・供養と今から供えておけることについて講演会を開催する。	11/23・1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
エンディングノートの書き方と相続講座	前回は行われた老い支度セミナーに引き続き、地域の葬儀社に講師を依頼し、エンディングノートを追いながら遺言や相続、葬儀費用などのついての老い支度を目に見える形に着手する事を目的とした。地域の葬儀社に講師を依頼し、自身の想いを遺される方へまた今を安心して生きれるよう、記入方法に添いながら相続や遺産整理などについてわかり易く学ぶ。	1/29開催・1回

平成30年度 自主事業報告書

横浜市野七里地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
権利擁護相談会	毎年継続して行われている栄区内で権利擁護が必要な方への支援として、社福士分科会にて企画。栄区包括支援センター社会福祉士分科会の共催事業。相続や遺言、成年後見等について、行政書士や司法書士に気軽に相談できる個別相談会。	10月～3月（野七里ケアプラザ11/17開催）・各栄区ケアプラザ6回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
楽しく学ぶ『成年後見制度の話』	成年後見制度についての普及啓発事業。任意後見、法定後見について法律の専門職に講師を依頼し、地域向けに講演会を開催する。また敬遠されがちな内容の為、落語DVDを導入する事で理解し易さを目的とした。任意後見、法定後見について地域向けの講演会。	2/13・1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
イージー体操	腰痛・膝痛があってもできる体操。椅子に座って行える体操を運動講師の指導のもと行った。体操以外のイベントを行い参加者の交流を深め、楽しみながら体操を継続出来るようにした。 高齢者が自分の足で歩いて生活できる体力と自信を持ってもらう事も目的とした。	毎週火曜日 36回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
のしちり健康作り体操	転倒予防、認知症予防、口腔リハを組み合わせで行った。会場を4箇所にして、より多くの人達に参加してもらえる様に周知もした。全身の機能改善が出来る、負担のそれ程無い体操と、笑いながら自然に認知症予防が期待出来るコグニサイズを主に行った。 ともすれば、筋トレをしさえすれば大丈夫と思いがちだが、その筋トレを行うための体を整える体操である。	月6回 62回

平成30年度 自主事業報告書

横浜市野七里地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
メンズ厨房	男性料理講座を他でも受けている女子栄養大学の講師に依頼して上郷地区センターと共催で実施。男性を意識してのメニューで楽しみながら好奇心も満たしてもらえるよう工夫した。 女性に比べ、男性が地域に出る事は少ないが、そのきっかけ作りの意味も大きい講座である。	31年1月23日 1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
園芸講座・調理実習	ケアプラザ産の野菜と地域の野菜を使い、旬の味を楽しんでもらう趣旨。講師に浜野菜コンシェルジュでもある町の先生をお願いし、地域野菜についても話を聞きながら、地元野菜の良さを認識してもらえた。	30年7月23日 1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ぎゅっと詰まった はちみつのいい話	はちみつの栄養や効能の他、ミツバチの生態についても話しをしてもらった。今年、はちみつの料理講座も行い、より身近にはちみつを利用できる実技を学び、健康への意識も高められとても好評だった。 他あまり行う事の無い講座で、ケアプラザに来る機会の少ない人向けにアピールした。	30年5月17・31日 2回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
冷え対策講座	自らも冷えで体調を崩し、改善に取り組んだ講師を迎え4回の連続講座で実施した。自身の冷えの傾向を知り日常に取り入れて、継続できる対策を具体的に学んだ。ヨガによる冷え対策も実技で行い、温湿布、足浴などもこだわりの方法を実践した。	30年10月26日 11月2・9・16日 4回

平成30年度 自主事業報告書

横浜市野七里地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
お針箱講座	港南区で活動しているボランティアグループに依頼して行う連続講座で、今年度はテディベアを作った。ボランティアと参加者とほぼ1対1となり、大変穏やかだが、張りのある講座で、連続にする事で外出する良いきっかけにもなった。	30年12月11・13・14日 3回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
スマートフォンを始めましょう	ソフトバンクの地域講座を担当している部署の方をお願いをして、2回連続講座で実施。参加者それぞれが講師側が準備したスマートフォンを持ち、全く触った事が無い事を前提に丁寧な講座となった。スマートフォン講座は以前から要望が度々あり、今回連続講座で実施した。	31年1月17・18日 2回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
食べる事は生きる力	森永乳業グループ病態栄養部門(株)クリニコの管理栄養士・山口氏による実技と試食を交えた実践講座。市販の物を上手く使う事で、手間が減り、より効果的である事を学んだ。本格的な暑さの来る前に実施する事で、夏の健康対策に生かしてもらおう様に企画。	30年6月29日 1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
無料口腔相談	地域の歯科医院に協力を依頼して、1対1で納得するまで相談をしてもらう事を想定。受診する程では無いと思っていたり、どこに相談したら良いのか迷っている事など、口腔のよろず相談の場とする計画だった。	通年 利用者無し

平成30年度 自主事業報告書

横浜市野七里地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
医療講座	地域の人達が知りたい、聞きたい、と思っている事に着目し、今年度はサロンで実施したアンケート結果も参考にして『めまい』について、南部病院耳鼻咽喉科の山本医師の講座を行った。	31年1月9日 1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
認知症予防野七里スリーA「なずなの会」	地域交流との共催。スリーA養成講座に参加した方が中心となり会を行っていく。 気軽に参加して、楽しみながら認知症予防と仲間作りを行う。	月 2回 2 2回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
昭和歌謡で昔に昔に帰ろう	流行歌毎の世相を聞く事で、ミュージックセラピーの要素も入れ、回想法で認知症予防の一環とする。 昭和初期から40年代の懐メロ歌謡曲を聞きながらその時代の世相や歌手の裏話などを聞く。	30年8月30日 1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数